

第5期雄武町総合計画策定審議会専門部会報告（実施計画）

部会名【社会福祉・教育部会】

- 【部会長】 大瀧 政尚
【部会長代理】 小林 雄司
【部会員】 大井 忠幸、加藤 洋美、真田 一二、鈴木 秀子、
津島 政司、横島 靖

【会議開催状況】

- ・ 9月26日（地域交流センター） 6名出席
- ・ 10月9日（地域交流センター） 7名出席

【審議結果】

基本施策6 保健・医療の充実

- ・ 単位施策4の「メンタルヘルス対策の推進」については、1事業しか挙げられていないが、“住民の悩みや不安の改善・解消”ということでは大事であると思うので、メンタルヘルス対策をもっと考慮すべきである。
- ・ 基本的に予防というものが大事であると思うので、予防対策に関する事業の充実が必要である。
- ・ 町で実施している予防に関する啓発活動の重要性を認識してもらうということが必要である。また、認識してもらう工夫も必要である。

基本施策8 子育て・子育ての充実

- ・ 保育所の統合について、子どもが地域からいなくなれば、その地域の崩壊にもつながっていくのではないかと。子どもが地域にいて、その地域が成り立つということにもなると思う。実施にあたっては、こういう意見もあるということも考慮して審議願いたい。
- ・ 保育所の建設については、これから小学校の統合といったことも想定される中、学校を転用するという手法もあると思うので、こういった既存の建物の有効活用といったものも議論して行く必要があると思う。

基本施策 1 2 学校教育の充実

- ・「児童生徒授業用コンピューター整備（更新）事業」（P145）では、今後の生徒数も考慮した中で、授業方法などの工夫が必要である。
- ・単位施策 3 「開かれた学校づくりの推進」、単位施策 4 「不登校等の子どもたちへのサポートの推進」に具体的な計画が挙がっていないが、前期に計画がなくても、次の 5 年間では具体的な計画を立てて、実施して行くべきである。
- ・「要保護・準要保護児童生徒援助事業」（P140）について、事業内容が“低所得世帯における児童生徒の就学援助”となっているが、事業指標では“不登校やいじめ解消”とあり、低所得世帯の子どもが不登校やいじめに遭うというのは大きな間違いなので、この部分は削除すべきである。

医療関係（国保病院）について

- ・国保病院については、安心して医療が受けられるよう経営改善を図り健全な運営に努めて行ってほしい。

その他について

- ・最近、犬の散歩をしている人が排泄物をビニール袋に入れたまま川に捨てるという事例が頻繁に起こっているので、何とかすべきである。
- ・最近ではモラルのない人が多すぎるので、広報関係での啓発や立て看板の設置など、地域の環境を守ることが必要である。

《部会としてのまとめ》

- ・政策目標の 2 と 3 については、概ねこのような方向で実施して行ってほしい。
前期 5 年、後期 5 年の 10 年計画で進めて行くという中で、主に役場の関係部局が実施主体となるので、事業の実施にあたってはしっかりと前向きに前進して行ってほしい。
- ・これから 5 年先のことはあくまでも予想であり、状況によっては事業の優先度が変わってくる場合もあると思うので、必要が生じた時には、計画を見直すということも考えて行ってほしい。